

# 「先達(せんだち)の遺徳など」を 語り合おう!

「新型コロナウイルス」の蔓延が長引き、皆さんと共に、お会いできるチャンスが途絶えている中で、日頃から「ホームページ」で、会員さんへの啓蒙活動を積極的になさっていただいている、「青野世話人」が、思いもよらぬ「遠隔笑考快議処」の発想で、語り合おうとのチャンスを作ってくれました。

「湘現会の歴史」も足かけ27年に及び、創立者の「初代の故・灘上代表」を、はじめとして、大先輩の方々も、発足した1993年当時では、今と違って、国内でも「シニア会の先駆者」としての位置づけでした。

「湘現会の25周年行事」の一環として「記念誌・さらなる一步」を発刊し、「もう一度会いたい人」の「投稿欄」を設けて、該当者の方々に「出筆」をお願いしましたが、紙面の都合や締め切り日などで、掲載できなかつたものも多々あると思います。

更には、その後、「人生100歳時代」と喧伝されるものの、残念ながらお亡くなりになられた方もおられます。

私自身、かねがね、「湘現会の輝かしい歴史」を作ってくださった方々の「遺徳を語り」、教えなどを伝承したいと思いつつ、「語り合う機会」を設けたいと、思いつつ、会員歴が長い方、入会して間もない方など混在している中で、「お話しの間」を設定しても、話題が繋がらないのではとの懸念されている方もおられて、断念していました。

しかしながら、今回、「遠隔笑考快議処」を、ホームページで展開してくれるということで、「河崎啓一さん」の「朝日新聞投稿文」が、字数が限られるも、「ご自分を飾らないさりげない言葉」が「人の心を打つ!」ことが良くわかり、青野さんの慧眼に敬意を表します。

この1~2年の間でも、病などに侵され、惜しむらくはお亡くなりになられた方や、ご事情があつて、脱会された方などもいらっしゃる、いろんな方々の、「飾らないお付き合い」の仕方が、終局的には「温もりのある場」を醸成してゆくものと、固く信じております。

「皆さんのお声」がホームページに順次掲載され、毎日、パソコンを開く楽しみが増え、「大きな勇気と励み」を頂いており、改めて心から感謝を申し上げます。